

大盛況の2日目



校内掲示

松本深志高校
新聞委員会
7月10日(日)

号外

○編集責任者
3年1組 田中帆葉

主な内容

・二日目の内容について

昨日のとんぼ祭では、久しぶりの一般公開も行われ、校舎全体が活気にあふれていました。そんな2日目の行事をまとめたのでぜひ読んでください！

中夜祭

第75回目に行われた中夜祭は、抽選で選ばれた人が参加するという制限のある中での開催となったが、さまざまな

場面を生徒一人一人の個性があらわれており、とても見どころのあるイベントであった。自分が特に印象に残ったのはダブルダッチの発表である。曲のリズムだけでなく歌詞にも合わせた演技を楽しそ



うに踊っている姿がとても印象的であった。来年はコロナの影響でどのように開催されるか見通しがつかないが、より多くの人に中夜祭を楽しんでもらいたいと思う。

(文責 渡部)

深志ヶ丘交響楽団

深志ヶ丘交響楽団のとんぼ祭公演はスタートウオーズのテーマで幕を開けた。この楽団は、毎年とんぼ祭の時に有志で結成されるオーケストラだ。吹奏楽部や音楽部

ともまた違い、金管楽器と弦楽器が合わさって、よりスケールの大きい演奏になるのが見どころだ。

オーケストラというと、お堅いイメージを持っている人もいるかもしれないが、最後の曲のラデツキー行進曲では、観客の手拍子も加わって楽しい雰囲気での公演は終わった。

(文責 今泉)

図書館ゼミ



とんぼ祭2日目、図書館ゼミではまだら牛氏に講演をしていただいた。ゼミの主題は「学びは遊びから」という勉強の意味や楽しさについて説く高校生向けの内容であった。まだら牛氏は「狂気山脈」などのTRPG 製作者である。

(TRPG とは進行役が物語を進め、プレイヤーが物語に沿って遊ぶという内容である。)彼の主張は勉

主な内容

・二日目の内容について

昨日のとんぼ祭では、久しぶりの一般公開も行われ、校舎全体が活気にあふれていました。そんな2日目の行事をまとめたのでぜひ読んでください！

ヒーローショー

強とは幸せな人生を作るのに必要なものであるというものであった。また、自分の見たくないことを見る、興味を持つことが幸せに必要なだと説いた。

(文責 百瀬)

ファッションショー

とんぼ祭2日目の今日は、講堂でファッションショーが行われた。長い時間をかけて丁寧に作られたであろう衣装は、どれも輝いていて素晴らしいものだった。夏を意識したもののや、デイズニープリ

ンセスのものなど、観ているとても面白く、飽きのこない作品ばかりだった。衣装を着るモデルたちは、美しく洗練された歩き方で、さまざまなポーズをきめ、個々の衣装を美しく見せた。会場では時折拍手や笑いが起こり、観客全員で会場を盛り上げた姿が印象的だった。

(文責 柳澤)

第75回とんぼ祭2日目は、特撮ヒーロー研究会によるヒーローショーが行われた。手製の衣装を各々が身につけ、部員約10名で中庭に訪れた100名を超える観客を沸かせた。部員の中の多くが兼部をしていることから、準備や練習もなかなか集まってできない中、中庭ステージに響き渡る音響と明瞭なボイスでと



とんぼ祭2日目を彩った。観客の中には多くの小学生の姿も見受けられた。特研にとってヒーローショーを通して未来の深志生に夢を与えられることができればそれほど嬉しいことはないだろう。

(文責 淵田)

クイズ大会

午後1時より中庭でクイズ大会の個人戦が行われた。3グループでの予選を行い、勝ち上がった3人で決勝が実施された。クイズはすべて早押しで行われ、もつとも正解数の多い人が勝ちとなる。簡単な問題から聞いたことの無い問題まで種類は多岐にわたった。観戦しながら問題を解こうと頑張ったのだが、聞いたことがあるのに思い出せないものも多く、歯がゆい思いをした。10日には団体戦もあるのでぜひ観戦してみたい。

(文責 青木)

二日目の様子

